

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 5 号)

2023年11月16日発行
 兵庫のみ研究所

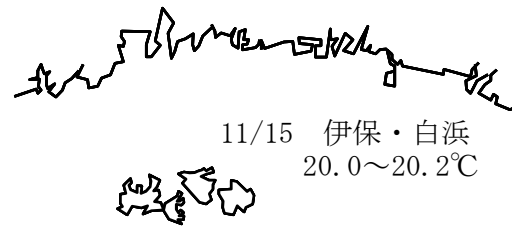
海域全般に、大型珪藻のコシノディスカスが確認されています。窒素は、赤穂～岩見漁場で概ね $1 \mu\text{g at/L}$ 台、陸水等の影響が見られる地点を除き、網干～伊保漁場で $2 \sim 3 \mu\text{g at/L}$ 台、沖合漁場で $2 \mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(栄養塩、珪藻)

海域全般に、コシノディスカスが確認されており、発生量は増加していた。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、赤穂～岩見漁場で1000～2000細胞（前回値：400～500細胞）、網干～伊保漁場で600～1200細胞（前回値：200～400細胞）、沖合漁場で50～150細胞（前回値：20～50細胞）であった。また、小型珪藻はほぼ確認されない。

網干漁場では、陸水等の影響によりアンモニア態窒素の値が高くなっていた。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	4.2	2.8	4.6	2.8
	リン	0.72	0.63	0.54	0.44
家島・坊勢	窒素	1.3	2.4	4.1	5.2
	リン	0.65	0.71	0.62	0.73

(11/8)

(11/18)

栄養塩 (窒素) 図

2023年11月16日調査

